

令和7年度の取り組みを紹介していますので、応募を検討されるにあたり、参考にしてください。

長崎市での平和学習

戦争の悲惨さや平和の大切さ、命の尊さを若い世代に伝える

## 令和7年度 北九州市 青少年ピースフォーラム派遣事業

北九州市では、長崎に投下された原爆の第一目標であった経緯を踏まえ、平成22年2月10日に「北九州市非核平和都市宣言」を行いました。この宣言において、市民の皆さんとともに、平和な世界の実現に向けて歩み続けることを誓い、これまで戦争の悲惨さや平和の尊さを伝えるための様々な取り組みを行ってきました。

その取り組みの一つ、小中高生を長崎市に派遣し、全国の子どもたちと交流する『青少年ピースフォーラム派遣事業』を、令和8年度も実施します。



### 令和7年度 北九州市青少年ピースフォーラム派遣参加者 (敬称略、学校名・学年は当時のもの)

学校名	学年	氏名	学校名	学年	氏名	学校名	学年	氏名
富野小学校	6	安部 颯佑	板櫃中学校	1	糸田 橘花	九国大付属中学校	2	山本 仁愛
小倉中央小学校	6	安部ンペロ真耶	上津役中学校	1	重松 和希	思永中学校	3	井澤 貴幸
槻田小学校	6	塚本 那々美	二島中学校	1	田中 千尋	敬愛高校	1	城戸 由治
貫小学校	6	柘植 まどか	小倉日新館中学校	1	比嘉 美結	小倉東高校	1	佐藤 陽菜
湯川小学校	6	中井 心音	守恒中学校	2	上田 基誠	戸畑高校	1	白石 紗彩
折尾西小学校	6	林 未来	緑丘中学校	2	大田 佳奈	能美学園星琳高校	3	増田 美博

計 18 名 (小学校 6 名、中学校 8 名、高校生 4 名)、引率者 5 名

#### 8月8日(金) 長崎市立 城山小学校の見学

爆心地から約 500m の場所にあり、原爆により多くの犠牲者が出た長崎市立 城山小学校 を見学しました。

北九州市の小・中学校などで植樹されている「嘉代子桜・親子桜」に繋がる「嘉代子桜」や「被爆校舎(城山小学校平和祈念館)」を見学しました。

被爆直後の生々しい学校の状況を、みな真剣な表情で見学していました。



長崎市立 城山小学校の見学  
多くの児童が亡くなった被爆校舎を真剣な表情で見学しています。

#### 8月8日(金) 「青少年ピースフォーラム」開会式、被爆体験講話

全国 34 自治体、約 360 名の小・中学生、高校生等が集まり、開会式が行われました。地元の高校生、大学生などを中心とした「長崎市 青少年ピースボランティア」による開会宣言、司会進行により、三瀬 清一郎さんによる被爆体験講話がありました。

壮絶な体験を語ってくださった三瀬さんの、次世代に語り継いでほしいという願いが、私たちの心に強く刻まれました。



三瀬 清一郎さんによる被爆体験講話  
原爆による壮絶な体験を語っていただきました。



## 8月8日（金）ピースフォーラム フィールドワーク

フィールドワークでは、長崎市の「青少年ピースボランティア」の皆さんが当時の写真などを見せながら、爆心地周辺にある被爆建造物等を丁寧に案内してくれました。



フィールドワーク  
移築された浦上天  
主堂の遺壁を前  
に、ピースボラン  
ティアの説明を聞  
きました。

## 8月9日（土）長崎原爆資料館の見学

長崎原爆資料館では、目を覆いたくなるような写真や資料が数多く展示されていました。原爆投下までの経緯や、戦後の核兵器開発などの歴史を学び、核兵器の恐ろしさを感じながら熱心に見学しました。



長崎原爆資料の見学

数多くの目を覆いたくなるような写真や資料を熱心に見学しました。

## 8月9日（土）被爆80周年 長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に参列

平和公園で行われる長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に参列しました。厳粛な雰囲気の中、献水・献花などが行われ、原子爆弾が炸裂した11時2分、黙祷しました。その後、鈴木長崎市長が「平和宣言」を行いました。



長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に参列  
土砂降りの雨の中を移動し、会場入りしました。

## ◆ その他の活動（事前・事後の活動）

- 8月3日（日）の事前研修会・保護者説明会では、事業の目的、派遣行程の説明のほか、平和のまちミュージアムの見学、北九州市の歴史や平和の取り組み、長崎との関りなどについて学習したあと、各班に分かれて今回の派遣で学びたいことなどを発表しました。
- 8月21日（木）の北九州市総務市民局長（事後）報告会では、活動で感じたことや学んだことを、三浦総務市民局長に一人一人から報告しました。その後、保護者の方々も一緒にスクリーンで写真を見ながら、長崎市での「平和学習」を振り返り、感想等を述べあいました。

事前研修会



総務市民局長(事後)報告会



三浦総務市民局長、重信平和のまちミュージアム館長と記念撮影



## ◆ 保護者の声（抜粋）

これまで当たり前だった平和が当たり前ではないと理解したようで、世界のニュースや政治など様々な分野のテレビ番組を、興味を持って観るようになり、家族で平和について話す時間が増えました。

同世代の子供達と意見を交換しながら平和学習することで自分の思いに気づいたり、他者の意見を一緒に考える力がついたのではないかと思います。私達も改めて戦争について学びなおすきっかけとなりました。平和式典への参加は子供の心に強く残る体験でした。

今年の夏は、平和学習に参加したことで親子共々、例年より深く戦争や平和について考え、また『調べる・知る・伝える』ことの大切さを再確認させられました。平和のまちミュージアムの職員やボランティアの方々には感謝しかありません。どうもありがとうございました。